

ミヤコ化学と SDGs

【基本的な考え方】

当社は大正10年(1921年)に創業、令和3年(2021年)に100周年を迎えました。創業以来、環境・安全に配慮した製品を提供し、地球環境の保護に積極的に取り組み、社会課題の解決、持続可能なより良い社会の実現に貢献できるよう努めてまいりました。今後も変化を機敏に察知し俊敏に舵を切りながら行動する企業を目指してまいります。

【ミヤコ化学株式会社における SDGs の取り組み】

当社の事業活動は、経営理念「わたしたちは新しい価値の提供により、安全で快適な社会づくりに貢献します。」を掲げ、より良い社会の実現に貢献できるよう努めてまいりました。創業以来の「より良い社会の実現」への思いを引き継ぐことが、SDGs(持続可能な開発目標)の目標達成にもつながると私たちは考えています。

| 事業 | 関連する SDGs | 関連する事業活動 |
|------------------|---|---|
| 化成品事業 |      | <ul style="list-style-type: none"> 自然界に存在する微生物による余剰汚泥分解、水質浄化、排出抑制 セルロースナノファイバー、次世代型フッ素系化合物等の取扱いによる環境負荷軽減 |
| 産業資材事業 |        | <ul style="list-style-type: none"> 生分解性プラスチック、バイオマスプラスチックの取扱いによる環境負荷軽減、海洋汚染・土壌汚染対策 リサイクル品の取扱いによる廃棄物削減、再利用促進 重防食粉体塗料の取扱いによる構造物長寿命化、環境負荷軽減 |
| ライフ & フードマテリアル事業 |         | <ul style="list-style-type: none"> コオロギパウダーの取扱いによるサステナブルなタンパク原料の確保 乳酸菌YM2-2、コラーゲン含有ミネラル複合体、甲州ぶどう酵母発酵液、アミノ酸等の取扱いによる健康増進 ワインパミス(ワイン製造後のブドウ果皮等)の取扱いによる環境負荷軽減 植物由来バイオマス樹脂・袋の取扱いによる環境負荷軽減 石油由来原料から植物由来原料への置換えによる脱炭素社会への貢献 |

| | | |
|--------------------|--|---|
| <p>塗装工事 事業</p> |  | <ul style="list-style-type: none"> ・感染症および熱中症対策への取り組み ・働く人の健康増進・労働災害ゼロの継続 ・学びの機会の提供による資格取得 ・専門技術の継承 ・クリーンエネルギーの採用 (再エネ由来電気) ・遮熱塗料の推奨による電力消費削減 ・環境対応型塗料の選定・使用 ・安全衛生方針・目標の設定と周知徹底 ・資材再利用による廃棄物削減 ・廃棄物処理管理の徹底による環境負荷低減 |
| <p>全社共通</p> |  | <ul style="list-style-type: none"> ・「健康経営優良法人 2023」の認定 ・「夢・化学-21」への参加 ・人財の育成 ・公正な採用選考の実施 ・ハラスメント防止の宣言 ・仕事と子育ての両立支援 ・柔軟な働き方の実現 ・レスポンシブル・ケア活動の推進 ・健全なサプライチェーンの確保 ・エシカル消費活動の推進 ・法令等の遵守と誠実な行動の表明 ・安全衛生活動の推進 ・デジタル技術活用による働き方改革 ・地域活動への貢献 ・蝶理(株)との協働 (リンク Tsumuguレポート) |

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

